

## 「トビイロウンカ」の発生に注意してください！

管内にて、秋ウンカと呼ばれる『トビイロウンカ』の発生が確認されています。

トビイロウンカは、大陸から気流に乗って移動してくるイネ害虫で、もともとは熱帯地域に生息しており、本州では越冬できませんが、飛来後には短期間で急激に増殖するため、吸汁による被害を引き起こします。

トビイロウンカは、出穂期以降に多発すると、イネ株が急激に萎凋して枯れるため、『坪枯れ』と呼ばれる被害になります。管内では9月上旬頃から発生が確認され、中旬以降管内各地において、急激に『坪枯れ』症状が散見されるようになっていきます。

普通期植えハツシモの収穫時期まで、あと10日～14日と予想されますが、既に『坪枯れ』症状が見られるほ場については、早急に『トビイロウンカ』の防除を行ってください。

(防除をしない場合の減収率は、最大7割となる場合もあります。)

### 【ほ場(坪枯れ)の様子】



### 【防除薬剤一覧の例(※ウンカ類に登録のある剤)】

薬剤名	使用量又は希釈倍数(使用液量)	使用時期	使用回数
スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
スタークル豆つぶ	250～500g/10a	収穫7日前まで	3回以内
スタークル液剤10	1,000倍(60～150L/10a)	収穫7日前まで	3回以内

※農薬登録情報は令和2年9月23日現在。(FAMIC(農林水産消費安全技術センター))

### 【注意事項】

- ハツシモの収穫までの日数が近くなっています。農薬散布後の収穫前日数に注意して下さい。
- 特別栽培米(大垣区域:れんげ米)についても、農薬成分カウントが1成分追加となりますので、『坪枯れ』が発生しているほ場では、早急に防除を行ってください。
- 収穫まで間もない中生品種等については、出来るだけ早く収穫を行きましょう。